

夜行念仏

夜行念仏（夜間の遍路）では、石灯籠の柔らかな灯りに照らされた信者達が、リズムカルに詠唱しながら山寺の内宮へと向かいます。この仏教の神聖な儀式は、8月6日に参加者が祈りを唱えながら、山寺の本堂である根本中堂前に集まると始まります。日没と共に、行列は山へ向かい、途中にある寺の建物の1つ1つで止まり、天の仏阿弥陀如来に捧げる祈りである念仏を唱えます。山寺の内宮である奥の院に到着すると、信者達は祈りを捧げ、一晩休みます。

信者達は、翌朝午前5時に起床します。行列は山寺を建立した円仁（794年～864年）を祀る開山堂と、五大堂（五大明王を祀った、断崖に建つ堂）を目指します。そこから、行列は山を下ります。

夜行念仏は、無形文化遺産として登録されています。一般公開はされていません。